## 第67回海岸工学講演会プログラム 第一日目

第1日目:2020年11月10日(火) 第67回海岸工学講演会スケジュール

	第1会場		第2会場		第3会場		
	1-R1-2  下園武範			1-R2-2 原田英治		1-R3-2 内山雄介	
10:40–12:00		Evolution of High Order Weakly Nonlinear Wave with Bottom Topography Change	75	海岸侵食対策における長期·広域の地形変化予測の ための水深方向沿岸漂砂量分布式の改良	165	東日本大震災津波後の名取川河口塩分変動と汽水 生態系回復との関連	
		OZuorui Lyu,森信人,加島 寛章		○野口賢二,加藤史訓,福原直樹ほか		〇岩村遼太郎,田中 仁,Nguyen Xuan Tinhほか	
	2	波高のみを境界条件とする新しい造波モデルの粒子法型数 値波動水槽への適用	76	沿岸漂砂量の時空間分布の推定	167	非構造格子モデルを用いた瀬戸内海-太平洋領域に おける外洋水の挙動解析	
		〇鶴田修己,後藤仁志,Abbas Khayyerほか		〇武若聡,内堀圭一郎,海老原友基ほか		中谷祐介,〇戸村祐希,西田修三	
	IJ02	Development of Multi-directional Irregular Wave Generation for Three-dimensional Navier-Stokes Simulation	78	侵食による新島羽伏浦海岸の崖地の後退とその再現 計算	IJ09	Development of regional downscaling capability in STEAMER ocean prediction system based on multi-nested ROMS model	
		岡嶋理功、一有川太郎		〇梅田天斗,宇多高明,小林昭男ほか		〇上平雄基,川村英之,小林卓也ほか	
	ა	Faraday波動場における波浪集中と崩壊過程	IJ07	Improving a sediment transport model with hydraulic experimental data to examine effects of vegetation	168	二重数を用いた4次元変分法によるデータ同化の実 用性評価	
		渡部靖憲,〇小嶋亮太		〇山本 阿子,多田 毅,福谷 陽ほか		〇永野 隆紀,入江 政安,岡田 輝久	
		荒木進歩	1-R2-3	鈴木崇之 25年2月2日 - 100 - 10	1-R3-3	佐々木淳	
	4	残留泡沫の組織化と合体、消失過程	80	3次元DEM-MPS法による初期ripple形成過程の計算 力学的検討	IJ10	On relaxation of the influences of treated sewage effluent on an adjacent seaweed farm in a tidal strait	
		渡部 靖憲,〇野中 拓実		○原田英治,田﨑拓海,後藤仁志ほか		OX. Zhang, Y.Uchiyama, A. Nakayama     東日本大震災におけるアマモ場の被害実態と津波外力との	
3:00-14:20		多数粒子群の突入による水面波発生解析における固液間相互作用モデルの検討	79	飛砂も考慮した遠州灘海岸の地形変化予測	157	関係	
Ö		〇五十里 洋行,後藤 仁志,樋口 優一ほか		〇横田拓也,宇多高明,小林昭男ほか		〇木村 裕行,Anawat SUPPASRI,山下 啓ほか	
13:0	O	完全Lagrange型流体-構造連成解析のための改良型 陰的弾性体モデルの構築 〇清水 裕真後藤 仁志.Abbas KHAYYER	81	Deep-learningを用いた海浜変形診断システム 〇目野玄也,小林昭男,宇多高明ほか	158	海草場を対象とした環境DNA の季節変化と環境DNA 分析における採水量の検討 〇赤塚 真依子,高山 百合子,Edwin Muchebvelまか	
		公角が、裕臭、後藤、上志、Abbas KHATTER 斜面上の非線形性の振る舞いと最高波高の出現特		<u>〇日野玄也,小林昭男,十多高明はか</u>   遡上域における漂砂量分布と汀線変化を考慮した3		O赤塚 具似于,高四 日音于,Edwin Muchebyelはか Feasibility study for seagrass beds monitoring using	
		性についての実験的研究	84	次元海浜変形モデル	159	environmental DNA	
	1 51 1	〇加島寛章,森信人 本 <i>信</i>	1 50 1	〇三木 脩平,黒岩 正光,梶川 勇樹	1 50 1	OMuchebve Edwin,高山百合子,赤塚真依子ほか	
	1-R1-4	森信人 Phase-Coherent Amplification of Ocean Swells Over		加藤史訓 北条川放水路における河口閉塞対策検討のための		桑江朝比呂 砕波時における海岸林による波高減衰効果の数値モ	
	1901	Submarine Canyons	85	地形変化モデルの構築		デリング手法の検討	
		〇田村 仁,川口 浩二,藤木 峻 Application of Boussinesg Modeling on Water Waves		安本 善征,松井 俊樹,〇小野 信幸ほか 平坦な干潟とリーフ縁辺部での安定した海浜縦断形		〇田所彩花.渡部真史.有川太郎 マングローブ・海草複合生態系による気候変動緩和	
4:40–16:00		through Mangroves  OChe-Wei Chang, N. Mori	88	の形成 ○渡部未樹久、宇多高明、小林昭男ほか	161	マンケローク・海早後占土忠系によるXLK変動機和 のメカニズム〜数理モデル解析〜 相馬明郎、〇小西颯人、戸田慎治ほか	
₽		博多湾で生じる副振動とそれによる浸水被害の可能				相馬明郎、〇小四嶋人、戸田慎冶はか 長期的なモニタリングによる造成時期が異なる人工	
14.		性に関する研究 〇新見将輝,中川康之,井手喜彦ほか	89	田内的な海面工弁を経験した海岸における修正 Bruun則による汀線変化予測 ○渡邊国広,加藤史訓,高木利光ほか	162	岩礁性藻場の生物遷移  〇杉本憲司、高嶋ひかる、高田陽一ほか	
		Undertow Response under Low Wave Energy		□ 及透回広,加藤丈訓,高不利元はか モノパイル式洋上風力発電機の基部における局所洗		〇杉本窓 可, 高鳴びかる, 高田陽一はか 南シナ海における河川起源マイクロプラスチック粒子	
	12	Conditions using XBeach  OK. Borribunnangkun,T. Suzuki	90	掘に関する実験的検討 有川太郎、〇陳暁悦、Songgui Chenほか	164	用ファ海にのいる河川起源やイブロフラステラフ程子 の3次元広域海洋輸送について 〇松下晃生,内山雄介,高浦育ほか	
	1 D1 E	0	1 D0 E		1 D0 E		
		田島芳満シルトフェンスを2重に設置した際の汚濁物質拡散抑		山城賢 RTK-UAVによる砂礫海岸変動特性の解明	1-R3-5	足膝	
	18	制効果の検討 〇田中みのり渡部真史、町田昌彦ほか	97	佐藤愼司,〇長﨑 由伽子,小塚 海奈里		水中CO2に関する現地調査 〇齋藤直輝熊柄、小森博仁ほか	
		高潮発生時の越波・越流による護岸通過流量に関す		振動流下における砕石敷設によるアサリ定位効果の		送海井能をにおける年間に融ル岩書吸収量の合同	
16:20–17:40	19	る研究	98	検証	通常号	推計	
		〇千綿 蒔,羽角 華奈子,織田 幸伸ほか 津波シミュレータT-STOCの静水圧・非静水圧モデル		〇佐藤 誠浩.南部 亮元桑原 久実ほか 陸上溯上波による混合砂礫の移動特性および細礫		〇桑江朝比呂,吉田吾郎,堀正和ほか ##辞沢に匹美士を関えたいた老虎した。現ま##の任道	
	20	の高潮浸水解析に対する適用性	99	分布形状の推定		堆積泥に吸着する陽イオンを考慮した保水性の低減と吸着サイトの分類	
		〇二村昌樹,川崎浩司,村上智一ほか		鈴木崇之,〇金子綾,比嘉紘士ほか		〇下方 幹治,Kim Keyongmin,日比野 忠史ほか	
	21	低速台風に伴う伊勢湾西岸域の潮位上昇メカニズム	101	船津川と銚子川の合流部に形成される河口砂州の変動特性	154	易分解性有機物を対象とした底泥浄化	
		吉野 純,〇山本 康平,小林 智尚		中道 誠,〇山本 隼也,今井 聡ほか		〇太田 知志,吉村 一輝,中下 慎也ほか	

## 第67回海岸工学講演会プログラム 第二日目

第2日目:2020年11月11日(水) 第67回海岸工学講演会スケジュール

	第1会場		第2会場		第3会場	
	<b>第一本物</b>   2-R1-1 太田隆夫				<b>寿3云物</b> 2−R3−1 信岡尚道	
		本田隆大 子吉川河口域で発生する塩水遡上に関する検討		有 側 思 士   高波浪時の急激な沖向漂砂と静穏時の緩やかな砂		信一回回   北海道東岸における爆弾低気圧に伴う高潮の擬似温
	14		92	浜回復応答の実測		暖化実験
		渡辺一也,〇谷口 隼也,齋藤 憲寿ほか		〇石川仁憲、宇多高明、三波俊郎ほか		吉野 純,〇岩崎 大也,小林 智尚
9:00-10:20	15	指宿港海岸における温泉地下水環境への養浜の影響	93	皆生海岸における台風1919号による海岸侵食被害と 事前養浜の必要性についての考察		確率台風モデルを援用した瀬戸内海における高潮の 統計的予測手法に関する研究
		〇笠毛 健生,三宅 崇智,小野 信幸ほか		〇小坂田祐紀,口石孝幸,加藤憲一ほか	<u> </u>	〇横山彼杜,安田誠宏,金 洙列ほか
		粒子追跡モデルを用いた黒潮から沿岸域への物質輸 送過程の評価	95	極浅海域の波浪と礫の移動から見た礫浜の応答特性に関する一考察	183	畳み込みニューラルネットワークによる台風気象場を 用いた高潮の時系列予測と長期評価
		〇増永 英治,木村 和久,小硲 大地ほか	i	〇青木伸一,濱野智紀,中山太士ほか		〇荒木裕次,安田誠宏,Adrean Webblまか
	17	潮流強化に伴う鳴門の渦潮の発生機構に関する研 究	96	海浜トレンチ調査による砂礫海岸形成機構の解明	IJ06	Application of Recurrent Neural Network for Prediction of the Time-Varying Storm Surge Profile
		〇内山雄介,Xu Zhang,柳瀬翔太		佐藤愼司,野口賢二,〇与那嶺 瑞輝ほか		〇五十嵐雄介,田島芳満
		渡部靖憲	2-R2-2	石川仁憲	2-R3-2	松山昌史
	IJIZ	Coastal impacts of super typhoon Hagibis on the Greater Tokyo and Shizuoka areas Japan	103	鳥取県天神川における波と河川出水による河口砂州 の地形変化について	207	津波数値計算および画像解析を用いた津波防災教 育ツールの開発
		〇下園武範,田島芳満,熊谷健蔵ほか		〇片山 崇,黒岩正光,山本真二ほか		三戸部 佑太,〇佐瀬 一弥,木村 達也ほか
0:40-12:00	23	東京湾および伊勢湾における2019年台風19号による想定最 悪高潮の力学的評価	104	Mechanisms of formation and development of a new island in front of Thu Bon River mouth Quang Nam	208	茨城県沿岸における津波と高潮の統合リスク評価の 基礎的検討
7		〇豊田将也,吉野純,林実里ほか		ODuong C. Dien,Nguyen X. Tinh,H. Tanakaほか		〇小林道彰,信岡尚道
10:4(	24	2019年台風19号の高潮再現および台風経路の再現 期間と将来変化	IJ08	Shoreline changes along the northern Ibaraki Coast after the Great East Japan Earthquake 2011	209	津波シナリオバンクを用いた避難経路探索手法の検 討
		〇澁谷容子,森信人,中條壮大ほか		ONguyen H. Quang,S. Takewaka,H.Kameda		〇坂田祐介,鈴木亘,有川太郎ほか
	1304	Proposal of New Indexes for Development Characteristics of Storm Surge Considering	105	東日本大震災津波後の北上川河口での漂砂移動と そのモデル化	210	災害地名による津波被災リスク顕示性についての検討
		〇井手喜彦,山城賢,橋本典明		ONguyen T. Hiep,田中仁,Nguyen X. Tinh		〇宇野宏司,谷口夏海
		平山克也	2-R2-3	渡邊国広	2-R3-3	富田孝史
	25	地形と成層の変化に関連する風応力による混合応答 時間の評価	108	Collapse of sand spit at the Kalu River mouth in Kalutara- Sri Lanka	211	高知県における津波碑の分類体系の試みと建立実 態の評価分析
		〇浅岡 大輝,増永 英治,小室 俊輔ほか		ONguyen X. Tinh, C.Samarasuriya,H.Tanaka		〇田畑佳祐,佐藤翔輔,谷川亘ほか
3:00–14:20	26	波浪結合全球大気気候モデルによる波向・風向のずれを考慮した海面抵抗係数の台風統計量への系統	109	多段砂州の組織的移動が波浪伝達特性に及ぼす影響に関する基礎的研究		防災公園と避難高台の比較に基づく津波避難施設の 日常利用価値の評価分析
Ĭ		〇志村智也,森信人,浦野大介ほか		〇村田 祐太,由比 政年,楳田 真也	<u> </u>	〇朝比奈朋美,安田誠宏,河野達仁ほか
13:00	27	気液境界層流れの相互作用を経た風波の発生機構	235	ルミネッセンス法を用いた手取川起源土砂の移動評 価	215	歩車相互作用を考慮したリンクコストと利用者均衡配 分を使用した津波避難シミュレーション
		渡部靖憲,〇土屋裕嵩		〇佐藤李咲,雁沢好博,柳井清治ほか		森田 格,〇ルベル ダス,櫻庭 雅明ほか
	28	Deep Learning-Based Image Processing for Whitecaps on the Ocean Surface	236	ルミネッセンス法を利用した養浜効果の評価手法の 開発	216	多様な津波被災データに基づく建物被害と人的被害 の高度な推計法の検討
L		Y. Wang,Y. Sugihara,OH. Nakashimaほか		〇蜜澤岳,雁沢好博,百瀬年彦		〇長谷川夏来,サッパシー アナワット,今村文彦
	2-R1-4	猿渡亜由未	2-R2-4	川崎浩司	2-R3-4	西畑剛
	20	Experimental investigation on the wind-driven surface flow associated with breaking waves	111	超大型浮体構造物の津波高さ低減効果	210	伊勢・三河湾における地震・津波がれきに対する航路 啓開作業船量の分析
		Y. Wang,OY. Sugihara,Y. Nakamuraほか		〇柿沼太郎,五十嵐陸,村上佳広	1	〇宮川晃希,富田孝史,平山修久
4:40-16:00	-211	台風Haiyanの高解像度計算における海洋・波浪の感 度	112	マウンド上被覆ブロックに作用する津波流体力に関す る数値的検討	219	極近地津波における避難行動の実態調査と分析: 2019年6月山形県沖の地震津波の例
		〇二宮順一,竹見哲也,森信人	<u> </u>	〇古市尚基,遠藤次郎,門安曇ほか		〇佐藤翔輔,今村文彦
14:4(		方向スペクトルの多峰性を考慮したスペクトル型波浪 モデルの精度評価	113	津波による浮遊船舶の防潮堤への衝突に関する実 験的研究		航空写真解析による津波瓦礫判別の広域適用に向 けた検討
		〇藤木峻,森信人,川口浩二ほか		〇織田 幸伸,本田 隆英,橋本 貴之	<u> </u>	〇三戸部 佑太,今井 健太郎,橋本 隆司ほか
	32	二山型スペクトル波の代表周期と代表波高の算定法 に関する研究	114	横波段波津波を受ける係留船の波力に関する一考 察	221	火山噴火災害時の港湾BCP立案の基礎となる海域 内降下火砕物の流動解析
		安田誠宏,〇森川湧太,間瀬 肇	<u></u>	〇榊原繁樹,砂原俊之,阿部郁男ほか		〇浅野敏之,長山昭夫,加古真一郎
16.1	0-18:30	—————————————————————————————————————				

## 第67回海岸工学講演会プログラム 第三日目

第3日目:2020年11月12日(木) 第67回海岸工学講演会スケジュール

	第3日日:2020年11月12日(不)			第67回海岸上字講演会人ケンュール 			
	第1会場			第2会場		第3会場	
		畑田佳男 Post-event survey of locally concentrated disaster due to 2019		小竹康夫 遡上津波先端部における漂流衝突速度の反射波に		二宮順一 d4PDF/d2PDFにもとづく気候変動による熱帯低気圧	
9:00-10:20	IJ13	Typhoon Faxai along the western shore of Tokyo Bay Japan	115	選上洋波光端部における漂流衝突速度の反射波に よる低減効果の検討	184	は の 将来変化	
		OT. Suzuki,Y.Tajima,M.Watanabelまか		〇村瀬史弥,渡部真史,平石晃士ほか		〇森 壮太郎,森 信人	
		東京湾における台風1915号による波浪スペクトル特 性と対策施設整備の留意点	116	防波堤マウンドに作用する段波の水理特性と被覆ブロックの安定性に関する研究	IJ11	Robustness and uncertainties in global multivariate wind-wave climate projections	
		高橋 康弘,髙山 知司,〇鈴木 善光ほか		〇野田智也,山中悠資,田島芳満ほか		J. Morim, M.Hemer,〇森信人ほか	
		超音波ドップラー式海象計で観測された方向スペクト	118	津波の流れに対するマウンド被覆ブロックの質量算	185	陸域一海域統合モデルを用いた瀬戸内海の流動場・	
		ルの安定性と信頼性の向上 〇橋本典明,三井正雄,川口浩二ほか	110	定法に関する実験的検討(その2) 〇加藤広之,古市尚基,門安曇ほか	'''	通過流への気候変動影響予測 〇吉成浩志.東博紀,中田聡史	
		波高発達率を用いた確率波の周期の推定方法	110	建築年代を含めた建物津波被害の実態分析とそれを	106	気候変動観測衛星GCOM-C/SGLIによる沿岸域に特	
	35	○田中陽二	119	考慮した津波被害関数 〇宮本 龍,Anawat SUPPASRI,今村 文彦	186	化した大気補正手法の考案 〇中山大雅,比嘉紘士,緒方一紀ほか	
		五十里洋行	3-D2-2	渡辺一也	3-D3-2	中條壮大	
		エイエグロ 非構造格子系を用いた流れから波浪1-wayカップリン		数値波動水槽とブシネスクモデルを用いた人工リーフ		海洋表層混合を考慮した全球大気・波浪・海洋結合	
		グモデルの開発に関する研究	120	改良に関する研究	187	モデルによる台風強度特性の評価	
		〇山縣史朗,川添僚太,井手喜彦ほか アンサンブル学習ニューラルネットワークを用いた富山湾沿岸		〇高木 利光,松島 三郎,座波 健仁 人エリーフ改良(離岸堤化)の構造形式・整備効果に		〇浦野大介,森信人,志村智也ほか 海水面上昇に伴う淡路島沿岸砂浜の消失将来予測	
	40	波浪推算モデルの開発	121	関する実験的・数値的検討	188	と支配要因についての検討	
2:2		〇増田 和輝,二宮 順一,斎藤 武久		〇中道 誠,岩佐 隆広,高山 靖史ほか		宇野宏司,〇重松直樹,柿木哲哉	
1		アンサンブルカルマンフィルタによる船舶観測データを用いた波浪推算手法の開発	123	消波ブロックの形状の違いがエネルギー減衰に及ぼ す影響に関する開水路実験	189	自己組織化マップを用いた台風来襲時における降水量の将来変化に関する検討	
10:40–12:20	•	〇藤原和弘,白井知輝,大宮知起ほか		○東良慶,村田誠,松下紘資ほか		〇柴田 大輝,児玉 充由,井手 喜彦ほか	
		WRFを用いた高潮・波浪予測計算の計算時間及び予 測精度についての検討	124	Applicability of multi-layer wave model for prediction of circulating current field around a submerged breakwater	190	気候変動に伴う日本周辺海域を対象とした海面上昇量の予測不確実性	
		〇白井知輝,藤原和弘,渡部真史ほか		ODilan Rathnayaka,Y.Tajima	1	○宮内海峰,森信人,志村智也ほか	
		台風熱収支に対する海洋表層混合の砕波パラメタリ			1		
		ゼーションの応答 〇髙木雅史, 森信人, 二宮順一			ł		
			3-R2-3	  片山裕之	3-R3-3		
		南海トラフ巨大地震の3次元津波伝播シミュレーション	126	楕円体の設置姿勢がその近傍の流況特性に及ぼす影響に関 する実験的研究	191	全球確率台風モデルを用いた将来の台風特性の都	
		〇大石裕介,新出孝政,山崎崇史ほか	120	〇山村雄司.重松孝昌.中條壮大	'~'	市域スケールでの評価 〇中條壮大.森信人	
02		透過性防波柵による背後域の津波遮蔽効果に関す	107	高天端人エリーフの水理特性に関する検討	104	サンゴ礁海岸における海面上昇による汀線後退量の	
14:		る数値解析	127	○世代攻亡 三匹尚立司 亚朗巾をほん	194	簡易推定法と小島嶼国での影響検討	
3:00–14:20		〇上野卓也,由比政年,楳田真也ほか 日本海西部域における1833年庄内沖地震津波の広		〇岩佐隆広,二階堂竜司,平間史泰ほか 透過型人エリーフの水理学的特性に関する研究		〇大中 晋,芹沢 真澄,宇多 高明ほか 沖ノ島における高波起源の巨礫分布の水理学的検討	
13:	40	域沿岸挙動に関する研究	128		195		
		〇山中悠資,島津希来,下園武範ほか		〇宮里信寿,仲座栄三,田中聡ほか いかは、4,27.65年周辺からび中朝の流動しば、1877年		〇渡部真史,清野聡子,徳永正吾ほか - 河流式 (知測な云された 下見海山別からなば諸島本	
	48	三次元粒子法型数値波動水槽を用いた防波堤堤頭 部における巨大津波流れに関する検討	125	没水した多孔質体周辺および内部の流動とせん断速 度に波周期の変化が及ぼす影響	197	漂流ブイ観測で示された天皇海山列から琉球諸島方 面へ移動する漂流漁船の可能性	
		〇久保田博貴,鶴田修己,千田優ほか		中條壮大,〇小塚泉,重松孝昌		〇嶋田陽一	
		鴫原良典 津波荷重評価に用いる水深係数のモード分解による		柿木哲哉 設置前後の汀線変化実態や海浜流計算に基づく人		武田将英 2017年8月に銭函海岸の離岸堤付近で発生した水難	
		洋波何里評価に用いる水深係数のモートが解による 空間的不確実性評価	129	エリーフの平面配置に関する検討	198	2017年8月に銭函海岸の離岸堤刊近で完全した水難	
		〇福谷陽,森口周二,寺田賢二郎ほか		〇岩田伸隆,加藤史訓,片野明良ほか		犬飼 直之,〇南原 充,安倍 淳ほか	
4:40–16:00	וט	津波避難ビル等の透過構造物に対する漂流物衝突 に関する実験	131	実設計への利用を考慮した耐衝撃波圧の部材設計 方法の評価	199	水難事故防止の為の静岡県高松海岸における遡上 波浪の挙動把握	
		〇野島和也,桜庭雅明,小谷拓磨ほか		〇安藤圭,鈴木高二朗,森信人		〇犬飼 直之,四家 哲人,安倍 淳ほか	
4:4(		漂流物と流れ場の時空間計測データを用いた複雑流 れ場における津波漂流物挙動の解析	132	三次元流体解析を用いた桟橋に生じる揚圧力の定量 的評価	200	IDに基づく防災教育の設計・評価に関する一考察 ~ 青赤紙を用いた率先避難訓練を事例に~	
-		<ul><li>1.場にのける洋及宗派物学到の胜句</li><li>○千田 優,福井 信気,森 信人ほか</li></ul>		O岡本大史,大久保寛,笠原宏紹ほか	1	松重摩耶、上月康則、〇河野有咲ほか	
	_ <b></b>	リアルタイム津波予測のための台風接近時における	133	消波工の断面変形および偶発波浪による作用波力	201	津軽海峡における潮海流発電装置の機械及び発電	
		海底津波計データの解析 〇松本浩幸,柄本邦明,今井健太郎ほか	100	の増大とその対策に関する検討 ○太田隆夫、金 洙列、中原修一郎		特性の評価 ○藤原 亮,蛯子 翼,宮武 誠ほか	
		安田誠宏	3-R2-5	<b>棋田真也</b>	3-R3-5	北野利一	
	55	遺伝的アルゴリズムによる沖合津波観測点配置の多	135	洋上風力発電施設を対象とした大径杭基礎に働く波	202	一様流中において回転する円柱に働く流体力の三次	
		目的最適化 〇倉本和俊,牧野嶋文泰,Anawat Suppasriほか	100	力と打上げ高に関する研究 〇橋本 貴之,本田 隆英,織田 幸伸ほか	202	元性に関する実験的研究 〇鈴木雅洋,居駒知樹,相田康洋ほか	
	56	広域の津波痕跡記録を活用した2004年スマトラ島沖	136	消波ブロック1層被覆式傾斜堤の港内側被覆ブロック	203	One Year Verification of Wave Predictions by Deep	
16:20–18:00		地震津波の再現計算		の耐波浪特性に関する実験的研究		Learning using Xception	
	1	〇保坂幸一,松山昌史,森勇人 Estimating sources of submarine landslide induced by the 2018	1	〇高橋 研也,佐貫 宏,菅原 弘貴ほか SPH法による消波ブロック群の移動解析の試み		OTracey H. A. TOM,A. Ikemoto,H.Maseほか SOMを用いた北部九州・中国地方で高潮災害を引き	
		Sulawesi earthquake and tsunami inside the Palu Bay	138		204	起こした気象場パターンの分類	
		〇永井香織, A.Muhari, P.Kwanchaiほか		〇三井 順久保田 真一,松本 朗		〇朝位孝二,西山浩司,白水元ほか	
	1J05	Physical Modelling of Tsunamis Generated by Subaerial– Partially Submerged and Submarine Landslides	139	起重機船から吊り下げた鋼板セルの動揺特性	205	対象地点に着目した資料による確率的台風モデルの 基礎的研究	
	<u> </u>	〇高畠知行,MAELL Martin,HAN Dawn Chenxiほか		〇倉原 義之介,小泉 博之,西山 大和ほか	<u>L</u>	〇信岡尚道,佐藤直宗	
		適合格子細分化法を用いた南海トラフ沿いの巨大地震津波の数値計算			206	Study on Probabilistic Inundation Hazard along the coast of South Pacific Islands: Case study at Lakeba Island in Fiji	
		震津波の数値計算 〇宮下卓也,O. Gomez-Ramos, 森信人				田島芳満,〇障子拓実,谷口健司	
ш		· · · · · · · · · · · · · · · ·					

## 第67回海岸工学講演会プログラム 第四日目

第4日目:2020年11月13日(金) 第67回海岸工学講演会スケジュール

	第4日日、2020年11月13日(亚)		第2会場		第3会場	
	21 21 22			<b>オと云物</b>  木原直人	4_D2_1	新 <b>分云物</b> 駒井克昭
9:00–10:20		有川		小		刷 升 兄 昭 水質解析におけるデータ同化性能に水質モデルの再
		効率的計算方法に関する検討	140	アン・コンドラン・コンドラン・コード・コード・コード・コン・コン・コン・コン・コン・コン・コン・コン・コン・コン・コン・コン・コン・	169	現性が及ぼす影響
		〇木場正信,由比政年		〇平山克也,濱野有貴,西受由裕ほか		〇入江 政安,井上 凌,岡田 輝久
	60	津波波源モデルにおけるすべり量とライズタイムとの 関係に関する検討	141	現地観測による2019年台風19号接近時のうちあげ高 予測の検証	170	潮差が異なる砂浜潮間帯に生息する底生等脚類の 岸沖分布と地盤環境適合場の一般性
		〇加藤 勝秀,森 勇人,佐藤 嘉則ほか		〇加藤史訓.福原直樹		〇梁 順普,佐々 真志,工代 健太ほか
	61	確率津波シミュレーションに係るサンプルサイズの決め方	143	2019年台風15_19号時の東京湾における船舶の漂流 距離と停泊位置に関する研究	171	堆積物中の形態別炭素に着目した都市沿岸部の炭 素貯留効果に関する研究
		〇北野利一,安田誠宏,福谷 陽		〇徳永正吾,黒澤一真,渡部真史ほか		〇遠藤 徹,早光 孝稀,北野 勇太郎ほか
	02	ランダムフェーズモデルを用いた徳島県沿岸の津波水位の確率評価に関する研究	144	地表面変位観測による地盤内の空洞陥没の予知および吸い出し抑止法の検討	173	シールド発生土に含まれる陰イオン界面活性剤の生分解特性
		安田誠宏,〇田中晴規,繁田航平ほか		〇工代健太,佐々真志,梁順普ほか		〇大西 晃輝,野口 孝俊,小野寺 克幸ほか
		越村俊一	4-R2-2	中山恵介	4-R3-2	中下慎也
	63	沿岸市街地模型を用いた津波・高潮浸水実験と解析	148	中空円筒型スカート基礎の浸透による貫入挙動に関する小型模型実験および解析評価	174	生物応答を利用したシールド発生土の安全性の評価
		〇福井信気,森信人,Che-Wei Changほか		〇小山宏人,前田健一,鈴木悠真ほか		〇三戸 勇吾,大西 晃輝,野口 孝俊ほか
12:00	64	東日本大震災における宮城県自治体での被害特性と死因傾向の考察	149	降雨及び潮位観測値を用いた海岸堤防下の地下水 位推定手法の提案	175	沿岸域における海生生物の分布とシースケープとの 関係
0		〇鎌田,門廻充侍,芹川智紀ほか		〇福原直樹,加藤史訓,南部卓也ほか		〇秋山吉寛,内藤了二,吉村香菜美ほか
10:40–12		土砂・シルトを含んだ津波の波力に関する実験的研究	150	50年間海水中暴露した摩擦増大用アスファルトマットの耐久性評価	177	ホンビノスガイの貧酸素環境耐性およびへい死量推 定に関する検討
		〇木瀬晃周,有川太郎		安達 昭宏,中川 耕三,〇山本 修司ほか		〇遠藤 雅実,佐々木 淳
	66	津波遡上への氾濫水密度の影響	226	光ファイバを用いた地盤高計測および濁度推定手法 の白川河口干潟への適用性検討	178	エゾアワビをモデルとした人エリーフの水産協調効果に関する研究
		〇松冨英夫,有川太郎		〇山野 貴司,黒田 直人,辻本 剛三ほか		〇中谷鷹,瀬戸雅文,巻口範人
			4-R2-3	井上徹教	4-R3-3	中谷祐介
	6/	津波の下での底面境界層のflow regimeに関する研究	227	多波長イメージ分光放射計を用いた干潟の底生珪藻観測に 関する基礎的検討	179	経験的固有関数展開法に基づく日本沿岸の海水光学特性の時空間変動解析
		〇田中 仁,Nguyen Xuan Tinh		〇仁木将人,丹佑之,田中昭彦ほか		〇八木 宏,村上 浩,磯﨑 由行
14:20	68	津波による海岸砂丘の変形に関する模型実験	237	フナフチ環礁フォンガファレ島を対象としたディープラーニングによる海岸堆積物分類モデルの構築	180	分岐を有するSubmerged Aquatic Vegetationモデルの開発
3:00-1		〇奥谷 哲也,平石 哲也		〇佐藤大作		〇佐々木 大輔,中山 恵介,新谷 哲也ほか
13:0	09	巨大津波特性と津波堆積物の土砂供給限に関する数値解析一2004年インド洋大津波と2011年東北地方	228	駿河海岸における各種モニタリング手法の適用性及び活用法の検討	192	RCP8.5シナリオに基づく瀬戸内海の一次生産および 水質への気候変動影響予測
		〇柾谷亮太,山下啓,Suppasri Anawatほか		〇中園大介,杉澤文仁,曽根泰輔ほか		〇東博紀,横山亜紀子,中田聡史ほか
	/0	津波・高波による巨礫移動現象の数値モデルを用いた検討	230	東京湾における水中物質の光学的特徴分類に基づく 生物光学モデルの構築及び 固有光学特性推定手法 ○藤田夏菜子.比嘉紘士.中村由行ほか	193	植物の遷移戦略を踏まえた順応的管理に向けた海浜植生の将来消失予測 宇野宏司、〇木元崚・柿木哲哉
		〇木曽哲志, 安田誠宏, A.Kennedyほか	4 50 4		4 50 4	7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 -
		中村友昭海底基盤データを利用した津波移動床解析の改善の		小笠原敏記  海岸保全施設の点検におけるUAVグリーンレーザ計		中川康之
	/2	試み―気仙沼湾での事例―	233	測の適用性	222	バングラデシュ南東部に建設中の深海港における航路埋没モニタリング
		〇山下啓,菅原大助,有川太郎ほか		〇中山真二,折谷佳城,竹下哲也ほか		〇佐貫 宏,黒滝秀平,Kevin Bobilesほか
14:40–16:00	/3	米国ワシントン州ディスカバリー湾における1964年アラスカ地震津波による地形変化	IJ14	Dependence of ocean-wave measurements based on high-frequency radar systems on sea surface salinity in estuary regions	223	泥炭地海岸の崩壊泥炭に由来する沿岸海水中への 溶存有機物の流出
		〇渡邊凌生,Sappasri Anawat,今村文彦ほか		〇片岡智哉,藤木峻,村上裕幸ほか		〇山本 浩一,渡辺 真優子,香川 拓輝ほか
	82	遡上津波による円柱周辺の局所洗堀現象に関する 三次元数値解析	232	浮標の画像解析を用いた波浪の波向き算定法 	224	離岸流検出のための画像平均化の適切な解析時間の検討
		〇梶川勇樹,武田将英,黒岩正光		〇古畑亜佑美,山野貴司,下園武範ほか		〇島田良、石川仁憲、小峯力
	117	取水施設における3次元津波砂移動解析	234	風波水槽での吹走距離延長のためのループ法の開発 一気流・波ハイブリッドループ法の構築ー	225	ベイズ推定を用いた海底地形データの融合手法に関する研究
		有光剛,〇川崎浩司,二村昌樹		〇上村友祐,高垣直尚,鈴木直弥		〇岡辺拓巳,下園武範,武若聡ほか